

ファインドスポーツクラブ及びファインドフィットス利用規約

第1条【適用範囲】

本規約は、【那須ヘルスセンター株式会社】（以下「会社」という）が運営し、管理管轄する第2条のスポーツクラブおよびジムと、それに派生するサービスの利用に関し適用されるものとします。

第2条【名称】

名称はファインドスポーツクラブ並びにファインドフィットス（以下総称して「クラブ」といいます。）とします。

第3条【会員制度】

クラブは会員制とします。

クラブに入会しようとするときは、本規約を承諾し、クラブに所定の入会申込書・誓約書等（Web上の申込等電子的媒体・記録による場合を含み、以下「入会申込書等」といいます。）を提出し、利用契約等の諸契約を締結することによりクラブへの入会が認められ、クラブの諸施設を利用することができます。未成年者が入会を希望する場合は、所定の入会同意書に本人とその親権者が連署の上、入会手続きを行うものとします。この場合、親権者は、本規約に基づく責任を本人と連帯して負うものとします。会員は、本規約、利用するクラブが入居する施設内の諸規則、その他会社およびクラブが定める規則を全て遵守しなければなりません。

第4条【入会資格】

次の各号のいずれかに該当する者はクラブの会員になることはできません。

- ・本規約および利用するクラブの諸規則を遵守できない者
- ・入会申込書等に記載された本人と同一人物であることを確認できない者
- ・刺青（刺青との判別が困難なペインティング等を含みます）のある者
- ・過去または現在において暴力団または反社会的勢力に属し、またはそれらに属するものと関係を有する者とクラブが判断した者
- ・医師等により運動を禁じられている者
- ・伝染病、その他、他人に伝染または感染する恐れのある疾病を有している者
- ・15歳未満または中学生以下の者
- ・所属する学校または団体においてクラブへの入会が禁じられている者
- ・未成年でクラブの入会に関して親権者の同意を得られない者
- ・入会申込書等に含まれる「誓約書」等に同意できない者
- ・その他、クラブが会員としてふさわしくないと判断した者

第5条【会費、入会事務手数料等】

各クラブの会費、入会事務手数料、その他の費用（以下「会費等」といいます。）は、クラブが定めるものとします。会員は、会費等を、クラブ所定の方法で支払うものとします。支払時期は、在籍する月の月末までの分を、前納制で支払うものとします。但し、入会時の初回支払時期については別途定めます。

会員は、実際のクラブ利用の有無にかかわらず、本規約が定める会費等をすべて支払う義務があります。一旦支払った会費等は、本規約の定めがある場合を除いて返還しません。

クラブは、会費等の改定を行うことができます。その場合、改訂を行うクラブは2週間前までに会員に告知するものとし、以後は改定後の会費等が適用されるものとします。

第6条【会員以外のクラブの利用】

クラブは、ビジター制度を設定することができます。その運用はクラブが定めます。その他の場合には、会員以外のものによるクラブの利用はできません。

第7条【遵守事項】

会員は、本規約に別途定める他、以下を遵守しなければなりません

クラブの利用にあたっては、記載されたルール、慣習上のルール、クラブの説明並びに指示に従わなければなりません。

クラブの利用時は、常にクラブが定める以下の禁止事項を含むドレスコードを遵守します。

- ・施設又は器具を傷つける可能性のある衣服、履物、服飾品または装飾品、ジーンズ、またはジーンズタイプのステッチあるいはリベット（びょう）がついている衣服、履物または服飾品等
- ・伸縮性に欠ける、滑りやすい、器具等に巻き込まれる可能性があるなど、トレーニングにふさわしくない衣服、履物、服飾品または装飾品、サンダル、草履、長靴等
- ・会員及び他の会員を傷つける可能性のある衣服、履物、服飾品または装飾品
- ・上半身あるいは下半身裸、裸足、下着のみ、またはそれに準じる格好
- ・ヒールが高い、または滑りやすいなど、トレーニングにふさわしくない履物
- ・プールを利用する場合には必ず水着を着用し、露出の大きなもの、トレーニングにふさわしくない水着、及び装飾品等
- ・その他、クラブがふさわしくないと判断した服装、履物、服飾品または装飾品

クラブ内において、以下の行為は禁止されます。

- ・物品販売や営業行為、金銭の貸借、勧誘行為、政治活動、無許可のアンケート協力等の依頼行為、署名活動
- ・刃物などの危険物や他者または施設、器具を傷つける可能性のある物品の施設内への持ち込み
- ・正当な理由なく他者の所持品に触れること。
- ・他の会員またはビジターに対しパーソナルトレーニングを行い、またはその方に評価される活動を行うこと。
- ・本規約に基づきクラブの利用を認められていない者を同伴させること。
- ・物を投げる、壊す、叩く等、他の会員やスタッフが恐怖を感じる危険な行為
- ・大声、奇声を発する行為、他の会員もしくはスタッフに対する暴力行為、行く手を塞ぐ等の威嚇行為または迷惑行為
- ・他の会員、ビジター、スタッフに対し、待ち伏せし、後をつけ、またはみだりに話しかける等の行為
- ・正当な理由なく、面談、電話、その他の方法でスタッフを拘束する等の迷惑行為
- ・酒気を帯びての入館
- ・動物を館内に持ち込むこと。
- ・他の会員の諸施設利用を妨げる行為
- ・クラブの秩序を乱し、またはその名誉、信用あるいは品位を傷つけること。

第8条【入館の禁止、退場】

クラブは、以下の各号のいずれかに該当する者につき、相当期間の入館の禁止または退場を命じることができます。

- ・本規約（第7条を含み、これに限られない）及び各クラブの諸規則を遵守しない者
- ・クラブにおいて、第4条に定める入会資格を欠いていると判断した者、または入会に際し虚偽の申告をし、あるいは入会資格に関わる重要な事実を故意に申告しなかった者
- ・クラブにおいて体調不良、薬物使用等により正常な施設利用ができないと判断した者
- ・クラブにおいて著しく不潔な身体または服装により、他の会員等の第三者が不快に感じると判断した者
- ・本規約の手續に従わず会員以外のものを入館させた者および入館した会員以外の者
- ・自己都合により会費等の全部もしくは一部を2か月間滞納した者
- ・会費等の全部もしくは一部を支払わない月が2か月連続した者

上記の他、クラブにおいて入館の禁止または退場を命じることが適切であると判断した者
クラブへの入館禁止中の会員は、禁止中も会費等を支払わなければならないものとします。

第9条【退会】

会員が自己都合によりクラブを退会する場合は、自らまたは代理人をして、クラブに来店し、所定の退会届の記入のよる手続きを行った上で、月末をもって退会することができます。

退会手続は、退会を希望する月の13日までに行うものとし、その場合当該月の末日をもって退会となります。

本条の退会手続が完了しない場合は在籍となりますので、クラブのご利用がなくても通常の会費等が発生します。

会費等の全部または一部が未納の場合は、退会届の提出までに完納しなければなりません。

会費等は、退会が月の途中であっても、当該月分を全額支払わなければなりません。

会員が自己都合により会費等の全部もしくは一部の滞納が2か月間となった場合、または会費等の全部もしくは一部を支払わない月が2か月連続した場合は、規約退会とします。また滞納分については、全額現金またはクラブが指定した方法で支払わなくてはなりません。

退会に伴い、クラブは、長期契約（1年一括前納等）に基づき既納された会費等がある場合は、これを正規料金で換算した上、月単位で経過月分を差し引いて返還するものとします。

第10条【届出等】

会員は、入会申込書等に記載した内容に変更があったときは、速やかに所属クラブにおいて、所定の手続きをもって変更の届出をしなければなりません。

クラブから会員への諸通知等は、会員から届け出のあった最新の住所またはメールアドレス等あてに行い、その発送をもって効力を有するものとし、未達または延着等となっても、発信後の責を負いません。

第11条【規約退会】

クラブは、会員が次の各号のいずれかに該当するときは、当該会員をクラブから強制的に退会させることができます。

- ・本規約（第7条を含み、これに限られない）および各クラブの諸規則を遵守しないとき。
 - ・クラブ内外にかかわらず、法令、条例または公序良俗に反する行為を行い、クラブの運営に影響が生じると判断されるとき。
 - ・クラブにおいて、第4条に定める入会資格を欠いていると判断したとき。または入会に際し虚偽の申告をし、あるいは入会資格に関わる重要な事実を故意に申告しなかったとき。
 - ・その他、クラブにおいて、会員としてふさわしくない言動があったと認めるとき。
- クラブから規約退会後の元会員は、退会時からすべての施設を使用することができません。
規約退会処分を受けた会員は、将来にわたり期間の定めなく、再度入会することはできません。

第12条【資格喪失】

会員は、次の場合に、自動的にその会員資格を喪失します。

- ・退会
- ・死亡
- ・クラブを閉鎖したとき
- ・法人会員の場合法人の解散

第13条【会員資格の譲渡禁止等】

クラブの会員資格は、本人限りとし、第三者への譲渡、売買、貸与、名義変更、質権の設定その他の担保に供する等の行為もしくは相続その他の包括継承はできません。

第14条【営業日および営業時間】

クラブの営業日、営業時間およびスタッフ受付時間については、別に定めます。ただし、気象災害等の理由により、事前告知なく変更する場合があります。

第15条【施設の利用制限】

クラブは、次の理由によりクラブ施設の全部または一部の利用を制限することがあります。そのような制限がなされる場合でも、クラブが別に定める場合を除き、会員の会費等の支払義務が縮減または停止されることはありません。

- ・気象・災害により会員にその災害が及ぶとクラブが判断し、営業が困難と認めるとき。
- ・施設、設備の点検、補修または改修をするとき。
- ・法令の制定、改廃、行政指導、社会経済情勢の著しい変化、その他やむを得ない事由が発生したとき。
- ・その他休業を必要と認めるとき。

前項の場合、事前にその旨をクラブ内またはクラブのホームページ等にて告示します。ただし、気象災害等によって緊急を要する場合はこの限りではありません。

第16条【クラブ施設の閉鎖・変更】

クラブは、次の理由により施設の全部または一部を閉鎖、もしくは変更することがあります。

- ・気象・災害等により会員にその災害が及ぶとクラブが判断し、営業を不可能と認めるとき。
- ・法令の制定、改廃、行政指導、社会経済情勢の著しい変化、その他経営上等やむを得ない事由が発生したとき。
- ・クラブ施設の閉鎖・変更の場合、クラブは、会員に対し、特別の補償は行いません。

第17条【賠償責任】

クラブ内で発生した紛失、盗難、傷害その他の事故については、会社およびクラブは、その故意または重過失による場合を除き、一切の責任を負いません。

会員またはビジターは、自己の責に帰すべき原因により、クラブまたは第三者に損害を与えた場合は、速やかにその賠償責任を果たさなければなりません。

第18条【通知予告】

本規約およびクラブの諸事情に関する通知または予告は、クラブ所定の場所に掲示する方法または電子メール等により行います。

第19条【本規約その他の諸規則の改定】

会社は、本規約、細則、利用規定、その他クラブの運営、管理に関する事項を改定することができます。クラブは運営するクラブの運営、管理に関する事項を改定することができます。また、その効力は最新の改訂日をもって全ての会員に適用されます。

附則.本規約は2023年8月1日より発効します。